

白浜レスキューネットワーク通信 8月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
白浜レスキューネットワーク

**自殺者救済活動**

8月1日～8月31日

電話件数 76件

保護件数 1件(男性1人)

○29日、三段壁から電話があり、30代の男性を保護した。3か月ほど前、耳の調子が悪く、医者に至急手術をした方がいいと言われていた。しかし自暴自棄になっていたこともあり、治療することなくほっておいてしまった。保護した時には、めまいがひどく、すぐに動くことのできない状態だった。共同生活に加わることになった。

**生活自立支援活動**

8月1日～8月31日

滞在者数 13人(男性13人、女性1人)

自立者 2名(男性2人)

○新聞配達をしている30代の男性が自立した。約8か月の共同生活だった。後半はシェアハウスに移り、自炊しながら新聞配達と農業を掛け持ちしていた。能力が高く、何でもできて力を発揮することができた面と、すぐに人を疑ってしまい人間関係で苦勞する面とが目立った。

今回の自立の話も、当初はシェアハウスから戻ってきて生活を立て直す予定だったが、もう一度集団生活に戻ることに強い抵抗があり、新聞店の社員寮に移りたいとの申し出があった。これから9年かけて今までの借金を返済する計画を立て、それに向けて頑張っていくことになった。不安がないとは言いきれない状況だが、これからも関わりを持ちつつ、励ましていければと思っている。

○旅館で働いている男性が近くのアパートに引っ越しをした。今まで丸3年安定して働いて

ることができたので、自立後も生活が崩れることなく働けることを期待している。

○今月保護した男性は、保護したのと同じ日に来たボランティア男性と打ち解け、話をしている中で少しずつ落ち着いていった。自分から働きたいと申し出てくるようになった。耳の調子はあまり良くなく、数か所病院にかかった。やはり手術の必要があるが、県内に出頭できる医師が少なく、年末まで待たないと手術ができなと言われていた。県内で受けるべきか、地元に戻るべきかも含めて調整をしていく。

○先月職を失ってしまった男性が、近くの料理旅館に就職が決まり、働き始めた。休日にも図書館に通い新しいメニューを考えるなど努力を惜しまず頑張っている。

○まちなかキッチンの惣菜をしつつ、居酒屋で働いている男性が、家族の元に帰ることを考え始めた。自分の店を出したいという夢があり、貯金が貯まってきたことも理由のひとつとして大きい。来月両親と話をするため一度帰省する計画を立てている。

**自殺予防活動**

・コペルくんサマースペシャル

7月24日～8月31日の土日祝日とお盆を除く毎日、コペルくんサマースペシャルを開催。述べ1163名参加した。8月に入ってからはさらに絵画、工作、自由研究に力を入れ取り組んだ。「ネイル」「はじめの人間」「マララさん」「なぜ黒色は日光を吸収するのか？」等、今年もユニークな研究テーマが多かった。今年是人手不足が続き、回すだけで精一杯になってしまった面もあった。子どもたちひとりひとりにもっと時間をかけるためにも人材の確保に力を入れ

る必要があると反省した。そのような中でも今年度は近くの手芸店の方に協力していただき、5年生の女の子の編み物の自由研究を指導していただいた。このように快く協力して下さる方がいることが本当に感謝だった。来年度はより地域の方々に呼びかけを行い、協力を求めつつ行っていきたい。

#### ○夏の特別授業

今年度は期間中に、和歌山県内に住む4人の方を講師としてお招きし、普段なかなか教わることのできないような授業をしていただいた。



一回目は、谷本智子先生による「音楽の秘密」音と音符の違いなど、わかっているようでわかっていない音楽の仕組みを教えてくださいました。最後はそれぞれに作曲に挑戦。できた曲を披露した。

最後はそれぞれに作曲に挑戦。できた曲を披露した。



二回目は、トイランドヨネクラさんによる「カブラ」30人で四列の橋を作った。



三回目は和歌山サイエンスシアターキャラバン隊の赤坂先生による「科学実験」身近にあるものであつと驚く、使える、楽しい工作をしていただいた。



四回目は当NPOの副理事である山本良作さんによる「コンクリート体験」コンクリートとは何かという講義に続いて、実際にコンクリートを触り、ペンダント等を作った。

実際にコンクリートを触り、ペンダント等を作った。

#### ○コペルくんこども祭り

サマースペシャルの最終日(31日)に子ども祭りを行った。わなげ、スーパーボールすくい、射的、フランクフルト、クッキー、かき氷、のみもの、焼きそば、たません、たこせん。それぞれグループにわけ、リーダーを立て、1週間かけて準備をした。看板を作り、ポスターを作り、チケットも手作りした。本番さながらの予行練習も行い、反省会をして本番に備えた。その甲斐あつてか、当日は皆てきぱきとよく働き、100名を超えるお客さんでにぎわった。子どもたちのお母さんやおばあちゃん、地域の方がたくさん来てくださった。



#### ・相談電話

5日、12日、19日、26日に行なった。1人の相談員の方が休まず来てくださっている。その方と相談者の信頼関係が築けており、毎週数人の方が欠かさずかけてくるという状況が続いている。

#### ・まちなかキッチン

・白浜の配達を担当が入れ替わり、配達の順番や仕組みも工夫しながら行っている。夏はホテルの職員や研修に来る学生からの注文が多くあった。食品が傷むのをふせぐために、保冷剤などの使用を開始した。